

## MODALITY

◀ 排便中, 暖かい部屋に入ること, 触られること, 患部の圧迫など

## RELATIONS

・ Antidoted by : Aloe, Rat.

## Palladium パラジウム [自己中心的]

Palladium-Pd

### BACK GROUND

Palladiumは、原子番号46、原子量106.421、元素記号Pd、白金族元素の1つであるパラジウムです。希少金属の1つで、貴金属としても分類されます。常温、常圧で安定な面心立方構造をもつ銀白色の金属で、融点1554℃。沸点3140℃、比重12.0、硬度4.8です。酸化力の強い酸（硝酸など）には溶けます。

パラジウムの名は、パラジウム発見と同年1802年に発見された小惑星、パラスPallasに因んでいます。パラジウムは、プラチナの残留物の中から発見されました。



地殻中含量は0.015ppmと少なく、銅ニッケル鉱、白金鉱、金・銀鉱などに含まれて存在します。パラジウムの生産地は限られていて、主にロシアと南アフリカで産出されます。この2カ国で世界生産量の約90%を占め、ロシアだけで60%以上占めています。

微粉末のパラジウムは、その体積の935倍もの水素を吸収することができます。このとき、金属は著しく膨張して脆くなります。吸収した水素を真空中で放出させると、きわめて活性の強い水素となります。還元触媒として利用されます。

白金系の金属の中では融点が1554℃と低いことから、加工性に優れ、近年では電子（電気接点、抵抗体など）・電気用（多層セラミックコンデンサーやセンサー、集積回路など）、自動車用触媒、宝飾用合金や歯科用合金など、利用法が拡大しています。世界中で日本がもっとも多く輸入しています。携帯電話やコンピュータの普及によっても、需要が伸びています。

パラジウムは、経口摂取ではあまり体内に吸収されません。かつてこの物質は結核の治療に1日65mg投与で使用されていたことがありましたが、目立った副作用は確認されていません。ただし、高用量の摂取では、発癌性があるとの報告があります。コロイド状のパラジウム摂取は、体温上昇や注射部位の変色や壊死、体重減少、わずかな溶血などが認められています。パ

ラジウムを扱う職人に粘膜の刺激が報告されていますが、パラジウムの影響の有無は証明されていません。

### FIRST PROVING

Hering (1850)

### MIND

Palladiumタイプは、利己主義・自己中心的で、虚栄心があり、他人からの賞賛やほめ言葉をとても欲しがります。いつでも注目的でいたいと願います。ナルシストの要素をもっています。他人に無視されたり、侮辱を受けることで機嫌が悪くなり、イライラします。また、無視されているのではと、空想してしまうことさえあります。友人たちといっしょに居るときも、注目されようと一生懸命になりますが、後で疲れきってしまいます。

### AFFINITY

Palladiumは、主に子宮、右の卵巣、精神に作用します。右側優勢レメディです。

### CLINICAL APPLICATIONS

このレメディは、一般的に女性に使用されます。

#### ■生殖器系

・ 右卵巣痛：卵巣に炎症や嚢胞があります。痛みはとくに月経中や、月経直後にひどくなる傾向があります。痛みは足を抱えたり、左下に寝ることで改善します。卵巣の痛みは鼠径部にまで広がる場合があります。同時に突き抜くような痛みを、右胸に感じることがあります。右の卵巣が腫れているような感覚があります。骨盤周辺が重く感じます。

・ 子宮の不調：子宮脱など

#### ■その他

・ 頭痛：痛みが耳から頭の上を通して反対側の耳に移行します。上記の症状と合併しています。

- ・ヒステリー、エゴイズム：人の注目を浴びていないと、イライラします。無視されたり、侮辱されるとヒステリーを起こします。

### MODALITY

- 触られること、圧迫、擦ること、睡眠後、排便後（背部痛）など
- 感情的ストレス、立っていること、仕事、社交的会合など

### RELATIONS

- ・ Antidoted by : China, Glonoinum, Belladonna（頭痛）
- ・ Complimentary : Argentum nitricum, Helonias, Lilium tigrum, Apis, Platinum

### ● 主な Palladium のレメディ

Palladium metallicum, Palladium fluoratum, Palladium muriaticum, Palladium oxydatum

## Passiflora incarnata パッションフラワー [子供の不眠症]

Passiflora incarnata L.

### BACK GROUND

Passiflora incarnata は、北米南東部から中南米原産の、トケイソウ科トケイソウ（パッシフローラ）属の多年性蔓植物、パッションフラワーです。トケイソウとも呼ばれています。トケイソウ科は、熱帯や亜熱帯地方に18属530種ほど存在し、そのうちのトケイソウ属は、350種類以上が確認されています。



(A)

学名の Passiflora は、この植物の花の中心部の形状から、雄しべの花柱をキリストに、副花冠を後光にたとえたことに由来する passion キリストの受難という言葉から来ています。英語では、Passion flower, Passion Vine, Granadilla, Maracoc, Maypops などと呼ばれています。

開花期は初夏から秋にかけてです。トケイソウの名のとおり、開花した花が時計に似ています。花は、その基部に3枚の苞があります。花弁は一見すると10枚

に見えますが、そのうちの5枚は萼片で、本当の花弁は5枚です。どちらもほぼ同じ形をしています。

またこの花は、花の各部分がイエス・キリストの磔刑を象徴していると言われています。16世紀に南米に渡ったイエズス会の修道士たちが、この花を崇めていました。葉は槍、5本の葯はイエスが受傷した5つの傷、細い巻きひげはムチ、子房柱は十字架、3本に分離した花柱は、磔に使われた釘を象徴すると信じられています。

花後には、鶏卵大の黄色い果実が実ります。この果実は、白い果肉が多汁質で芳香があり、清涼飲料水やアイスクリームなどの原料にもされています。

茎の基部は木質化します。円筒形の細長い茎には巻きひげがあり、これで近くにあるものに絡みついて伸びていきます。葉は、その辺縁に細かい鋸歯があり、掌状で3～5裂に分かれています。

この植物は、古くからアメリカ先住民の間では、強壮薬や精神的緊張の緩和と安眠のための薬草として利用されていました。

実際に1930年代から始まったこの植物の研究で、副作用や習慣性のない、安全な精神安定作用をもつことがわかってから、多くの国でメディカルハーブとして利用されてきました。ただし、血圧をやや低下させる作用があるために、乳幼児、妊婦、低血圧の人には注意が必要とされています。

このハーブは、とくに精神安定作用に優れているために、精神緊張、不眠症、高血圧、不安神経症、ヒステリー、ノイローゼ、無気力、痙攣、緊張型頭痛、ひきつけ、神経性喘息発作、過敏性大腸炎、下痢、月経